



低温着火による 火災に注意!!

コンロを火元とする火災が続いています！
今一度ご確認をお願いします！

低温着火とは？

コンロやストーブなどの強い熱源が近接している場合、長時間熱を受け続けると、木材の水分が蒸発し、壁内部の木材が炭化状態となり、100℃程度の低温でも木材が発火することをいいます。

こんなところが危険!!

見えないところから火災が発生!?

コンロ周囲の壁体。一見問題の無いように見えるが…。



低温着火は壁体内部で発生することが多いため、外観から火災を発見することは困難です！
またコンロ周囲のステンレス板に変色が見られる場合は注意が必要です！



壁体内部から
火災発生!



ステンレス
鋼板が変色
している!



火災を防ぐにはどうすればいい？

火災予防上安全な距離をとる。

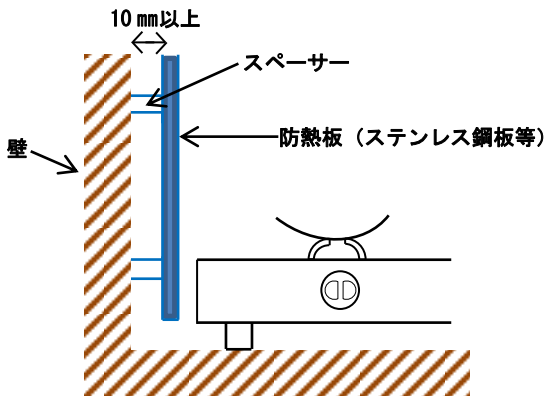
- ・コンロと壁の距離をとる。
- ・大きな鍋等を長時間使用する場合には、なるべく壁から離れたコンロを使用する。
- ・火災予防条例で定められている適正な距離を確保する。



適正な距離を確保できない場合は以下のような対応が必要です。

壁の構造を強化する。

コンロ周囲に防熱板を設ける場合。



建物構造及び防熱板等については適正な材料を使用する必要があります。最寄りの消防署までご相談をお願いします！



低温着火を防ぐためのチェック項目

- コンロ周囲の壁に変色等は見られませんか？
- コンロにかけた鍋が壁に接触していませんか？
- コンロ周囲の壁にひび割れなどはありませんか？
- コンロ使用後に周囲の壁体が異常に熱くなっていませんか？

低温着火は目に見えない場所で発生しています。

チェック項目が一つでも当てはまるものがあれば、要注意です。

こまめに点検を実施しましょう。



問い合わせ先 金沢市消防局	予防課	金沢市泉本町7丁目9番2号 076-280-2069
金沢市中央消防署	予防係	金沢市泉本町7丁目9番2号 076-280-5041
金沢市駅西消防署	予防係	金沢市駅西本町1丁目11番29号 076-280-6094
金沢市金石消防署	予防係	金沢市金石東1丁目3番3号 076-280-7037